

北相模總守護社

亀ヶ池八幡宮

社報

龜ヶ池

悠久のときを越えて



第13号

平成24年7月1日発行



御社殿鬼瓦と縁の木

今回のトキの繁殖は、周りの農家の協力が大きい。トキとの共生を目指した農薬や化学肥料の使用を控えた農法が、トキを取り巻く自然環境を改善し成功を導いた。向後も自然と共生するためには努力していく必要がある。

トキの繁殖は、自然界との均衡が崩れてしまったように思う。トキの餌となる泥鰌やミミズは水田から姿を消してしまった。

農家の協力が大きい。トキとの共生を目指した農薬や化学肥料の使用を控えた農法が、トキを取り巻く自然環境を改善し成功を導いた。向後も自然と共生するためには努力していく必要がある。

天然記念物のトキが日本国内で、三十八年振りに繁殖し、雛が誕生したとして大きな話題を振り撒いた。親鳥は大切に、あるいは必死に雛に餌を与えて育て、そして五月には巣立ちを迎えた。実際に喜ばしい報である。今後は自ら餌を探し生きていくことになる。すくすくと育つて欲しい。

いちょう





節分祭斎行 —邪氣災厄をはらう—

梅の香高く、春の風吹く2月3日、節分祭が盛大に斎行されました。

元来、節分とは四季を分ける日である立春・立夏・立秋・立冬の前日を指しますが、いつしか節分といえば立春の前日を指すようになり、豆撒き行事が行われるようになりました。

当社は、福男・福女の豆撒師の皆様は先ず御社殿でお祓いを受け、追儺板を力強く打ち鳴らし、鬼を退散させました。その後、神楽殿回廊の特設舞台で「福は内、鬼は外」との大きな掛け声と共に豆撒きが行われ、特設舞台の下では投げ出される福豆を得て福を授かると、参拝者が両手を広げ、歓声を上げていました。福物を御協賛下さいました崇敬者各位に御礼申し上げます。



平成二十四壬辰年

初詣賑わう御社頭 —ご利益満願—

新しい年への願いを込め、希望に満ちた平成二十四壬辰年も穏やかに幕を明け、本年も相模原市内外より亀ヶ池八幡大神の広大無辺なる御神徳を仰ぐ大勢の参拝者で新春の御社頭は大変な賑わいを見せました。

昨年三月十一日に発生した未曾有の東日本大震災後、初の正月であり、被災された地域の一日も早い復興を願い祈願祭を斎行し、元旦を迎えた。

元日より御社殿では家内安全・厄除け・商売繁盛等の御祈祷が続き、お守り・絵馬・破魔矢等を受ける善男善女で境内は埋め尽くされました。

神社参拝研修旅行

—箭弓稻荷神社参拝—

当八幡宮恒例の神社参拝研修旅行は、東日本大震災が発生した昨年は止むなく中止となりましたが、本年3月12・13日に2年振りに総代世話人・神職22名が参加のもと実施されました。



この研修は、神社を参拝し、由緒や境内また祭典・行事等神社神道の見聞を広め、今後の神社護持の一助になることを目的に実施しています。本年は埼玉県東松山市に鎮座する箭弓稻荷神社を正式参拝。続いて上野国総鎮守の総社神社を参拝し、水上温泉で日頃の疲れを癒し懇親を深めました。翌日は富岡製糸場を見学し、午後は昭和天皇の御生涯を展示・紹介している東京都立川市の国営昭和天皇記念館を見学し帰途につきました。

その後、根岸宮司は昭和聖徳記念財団発行「昭和」に寄稿致しました。ここにご報告致します。

夏越大祓式 茅の輪くぐり神事

水無月の
なごしの祓する人は
千歳の命延ぶというなり

六月三十日午後三時、御社殿前に於て、「夏越の大祓・茅の輪くぐり神事」が古式に則り斎行されました。

日本古来の伝統的な信仰である大祓は、日々の生活の中で知らず知らずのうちに身についた罪や穢れを祓い清め、清く明るく正しい生活を送ることが出来るよう願う「よみがえり信仰」の根源となる神事です。

当日は梅雨の晴れ間、強い日射しの照りつける中にも拘わらず、四百名を



越える老若男女が参拝しました。

神職等の大祓詞奏上後、心身ともに祓い清められた参列者は、宮司に続き御社殿前に設置された茅の輪を三度くぐり、向こう半年の無病息災を祈願致しました。



参加された多くの方々から、「親子の絆が一層深まり良い思い出になる行事であり来年も是非計画してほしい。」との声が寄せられました。

ントをして大変な
賑わいになりまし
た。

た兜を頭にかぶり、ご神前にお祓いを受けた後、いよいよ土俵入りです。行司が一人ひとり赤ちゃんの四股名を声高らかに呼ぶと、豆力士（赤ちゃん）は、大人の力士に抱えられ、御本殿前に設けられた土俵の上へ進みます。

「はつけよい！」の行司の合団で泣き相撲が開始され、八幡様が見守るなか、いよいよ元気良く泣くと親御さんはじめ、ご家族の皆さん大変な喜びようで、我が子の姿を写真に収めようと右往左往。その後、力足・一升餅担ぎ・手型・福引等の楽しいイベントをして大変な

泣き相撲の第二回「亀ヶ池場所」が開催されました。

一心泣き相撲



平成の御社殿・御神門等 御造営 奉贊のお願い

御鎮座八百年 奉祝記念事業



御社殿・御神門完成予想図

奉祝記念事業」として、御社殿・御神門等の御造営計画を進めて参りましたが、愈々今秋、御社殿・御神門等の建築地鎮祭を斎行し、大勢の工匠達の技・そして節目々々の神事を経て、二年後の平成二十六年秋には「平成の御社殿・御神門」が竣功の予定です。

亀ヶ池八幡大神の広大無辺な御加護のもとに、尊き御神縁に結ばれました御信仰深き皆々様の絶大なる御協力と御賛同を戴き、本事業が滞りなく、そして見事に完遂されますよう切に念じ上げるものでございます。

つきましては、崇敬者皆様方の心温かな赤誠溢れる御奉賛を、左記要領により賜つておりますので、どうぞ趣旨を御賢察戴き御理解御協力の程、伏して宜しくお願い申しあげます。

亀ヶ池八幡宮
御造営奉賛会
役員一同
会長 清水亨
宮司 根岸信行

■奉贊全

個人
法人
□□
—
○、○○○円
—
□以上

■期間

②左記口座へお振込み下さい
①当ハ幡宮社務所までお届け下さい

（振込用紙本人様控えを領収書とあわせて戴きます）
八千代銀行上溝支店 普通預金

口座名 亀ヶ池八幡宮社殿御造営奉贊会
相模原市農協上溝支店 普通預金

店舗番号 5159-004
口座番号 0029288

口座名 亀ヶ池八幡宮社殿御造営奉贊会

病院創立以来六十有余年に亘り敬神の念篤く元旦祈祷等をされてきた相模原協同病院の先生方から、氏子崇敬者皆様方の健康保持に貴重な記事を頂戴しております。今号は同病院代謝内科部長の山口真哉先生より寄稿頂きましたので、掲載致します。

健康お宝船



放つておくと怖い糖尿病

相模原協同病院
代謝内科部長
山口真哉先生



生活習慣病は、かつては成人病とよばれていますが、発症の原因が日常生活のさまざまな部分にひそんでいるため、このように呼ばれるようになります。生活習慣病に含まれるものとしては、高血圧、糖尿病、脂質異常症や高血圧症、そして糖尿病など発症の常症はもちろんのこと、肝臓病、骨粗鬆症などもはります。

特に食生活が豊かになり、交通手段が発達してきた結果、食べ過ぎや飲み過ぎ、運動不足、さらに現代社会ならではのストレスが重なって、多くの人が脂質異常症や高血圧症、そして糖尿病などを含む危険にさらされています。ここでは、糖尿病を中心にお話しします。

平成十九年の国民健康・栄養調査によると、「糖尿病が強く疑われる人」の八九〇万人と「糖尿病の可能性を否定できない人」の一三三〇万人を合わせると、全国に二二一〇万人いると推定されています。しかも、糖尿病が疑われる人の約四割はほとんど治療を受けたことがない人

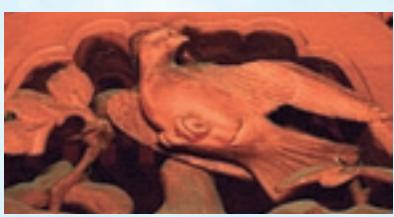
神社豆知識！

鳩

「鳩」は平和の象徴と言われております。また道徳・礼節のシンボルともされていますが、日本では八幡様のお使いとしても知られています。

「平家物語」では、源義仲が三本の弓を奉納して八幡神に戦勝を祈願し、義仲の偽りなき心に感應した八幡神は戦場に金色の鳩を三羽遣わし、見事戦勝に導いたと伝えられます。このような説話から古来より鳩は神聖視されてきました。

八幡様をお祀りする多くのお社では、扁額の「八」の字を鳩で表現していました。梁などに鳩の彫刻が施されています。



亀ヶ池八幡宮本殿正面蛙股に施された鶴の彫刻

かり治療していないいると、眼が見えなくなったり、人工透析をしなければなりして不自由なくなりません。これらのが精一杯といふことができます。しかし併症は、発症したときにはもう元に戻すことができず、悪化を防ぐのに因でなってしまう病気です。逆にいえば、規則正しい生活をして、運動も取り入れ、バランスのよい食事をすれば予防ができるのです。糖尿病は一度なつてしまふと治りませんが、「糖尿病予備軍」の段階ならまだ間に合います。糖尿病に対する正確な知識を持つて、生活習慣を見直し糖尿病を予防しましょう。

生活習慣病といわれている病気全般に言えることですが、それらは不規則な生活、運動不足、そして偏った食生活が原因でなってしまう病気です。逆にいえば、規則正しい生活をして、運動も取り入れ、バランスのよい食事をすれば予防ができるのです。糖尿病は一度なつてしまふと治りませんが、「糖尿病予備軍」の段階ならまだ間に合います。糖尿病に対する正確な知識を持つて、生活習慣を見直し糖尿病を予防しましょう。

神奈川県厚生連相模原協同病院
相模原市緑区橋本二一八一八
電話〇四二一七七七一一四二九一

このように自覚症状が無くとも、糖尿病は徐々に進行し併症を引きおこします。また、糖尿病が原因の視覚障害の発生も年間約三千人もいるようです。しっかりと治療していくないと、眼が見えなくなったり、人工透析をしなければなりして不自由なくなりません。これらのが精一杯といふことができます。しかし併症は、発症したときにはもう元に戻すことができず、悪化を防ぐのに因でなってしまう病気です。逆にいえば、規則正しい生活をして、運動も取り入れ、バランスのよい食事をすれば予防ができるのです。糖尿病は一度なつてしまふと治りませんが、「糖尿病予備軍」の段階ならまだ間に合います。糖尿病に対する正確な知識を持つて、生活習慣を見直し糖尿病を予防しましょう。

生活習慣病といわれている病気全般に言えることですが、それらは不規則な生活、運動不足、そして偏った食生活が原因でなってしまう病気です。逆にいえば、規則正しい生活をして、運動も取り入れ、バランスのよい食事をすれば予防ができるのです。糖尿病は一度なつてしまふと治りませんが、「糖尿病予備軍」の段階ならまだ間に合います。糖尿病に対する正確な知識を持つて、生活習慣を見直し糖尿病を予防しましょう。

たがつて、自覚症状がない状態であるとさから血糖コントロールを常に良好にしておくことが、将来の併症を発症させないために大切です。そして血糖コントロールが良好な状態を維持するためにも、定期的に医療機関を受診し治療を継続することが大切です。

ここからは予防の観点から話します。最初に説明しましたが、糖尿病は生活習慣病です。

ここからは予防の観点から話します。最初に説明しましたが、糖尿病は生活習慣病です。



相模原協同病院

ご案内

平成二十四年例大祭斎行

ご創建以来連續と絶えることなく斎行されている当八幡宮の例大祭は、左記の通り執り行いますので、お気軽にご参拝ください。

日時：平成二十四年九月十七日（月・祝）

●例大祭（御社殿）…………午前十時

●奉納剣道（境内）…………午後一時

●神代神樂（神楽殿）…………午後三時

●余興（神楽殿）…………午後六時

●お囃子（囃子やぐら）：終日（適宜）



七五三祝児無事成長祈願祭

七五三祝は、古くは平安時代より公家の間で行われ、江戸時代に入り庶民に広まつたものです。当八幡宮では、十月初旬頃より十一月末までお子様の健やかな成長を願つて七五三祈願祭を斎行いたします。なお、**すこやかパック**（貸衣装・美容・着付・写真）の展示予約会を行います。

ご祈祷同様ご希望の方は当八幡宮社務所へお問い合わせ下さい。

●ご祈祷・すこやかパックの希望受付
：八月より

●ご祈祷時期：十月より十一月末

●すこやかパック展示予約会日程

8月25・26
9月1・2・8・9・15・16・22・23・29・30
10月6・7・8・13・14

平成二十五年正月祈願祭受付

「一年の計は元旦にあり」人は皆新年を迎えると、希望や夢をふくらませ、神社に初詣されています。

当八幡宮では、無料大駐車場を完備し、初詣の皆様をお迎えしています。

家内安全・厄除け・商売繁盛・交通安全等のご祈祷予約を十一月より受けいたしますので、当八幡宮社務所へご連絡下さい。